

よく分かる

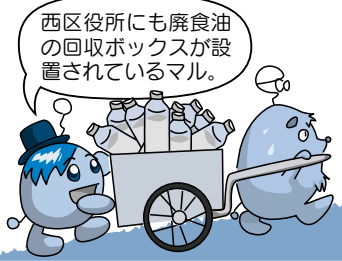
～廃食油回収の仕組み～



①まず廃食油をよく冷ましてから、天カスなどの不純物を紙でこします。



②こした廃食油を、500ミリのペットボトルなどに詰め、ふたをしつかり閉めます。



③廃食油の入ったペットボトルを、公園や学校などの回収場に持参します。



BDFは札幌市のごみ収集車などに利用されているワル。

④廃食油はリサイクル業者の買い取りで回収され、BDFに生まれ変わります。

家庭でできる
エコ活動



廃食油のリサイクル



- ①小学校内に設置された、廃食油の回収ボックス。
- ②業者に回収された廃食油。
- ③公園で廃食油を回収！

油を捨てる時に使う凝固剤や紙などのごみを減らしたり、下水の汚染も防ぐなど、地球に優しい取り組みです。

■廃食油を燃料に再利用

町内会やPTAなどの団体単位で使用済み天ぷら油（廃食油）の集団回収を行い、バイオディーゼル燃料（BDF）にリサイクルする活動が行われています。

皆さんも始めてみませんか？

月に2回、地域の公園でアルミ缶などと一緒に廃食油を回収しています。リサイクルすれば、自動車や暖房の燃料に使える廃食油は大切な資源。家庭で気軽に取り組めるので、子どもたちの環境教育にも最適です。捨てるのはもったいないですよ！



琴似仲よし町内会 副会長・環境部長 おぼた たつお 小畑 龍夫さん



昨年9月に初めての試みとして、「西区環境まちづくりリーダー」の講習会が行われました。これは、主に子どもたちを対象とした環境学習を行う際の指導者となる人材の養成を目的としたもので、20代から60代の会社員や主婦、幼稚園教諭など16人が参加。2日間にわたり環境ゲームや野外活動などの講習を受けました。その成果は12月に開催された「西区こども環境広場」で披露され、会場ではリーダーたちの前で大勢の子どもが笑顔を見せていました。

環境学習の指導者養成

自然の楽しさと
大切さを伝えたい



西区環境まちづくりリーダーの養成

- ①講習会の終了後に、みんなで記念写真を撮影。
- ②環境ゲームの講習中。本番でもうまくできるかな？
- ③「西区こども環境広場」にて。環境ゲームコーナーは大人気！

